

みどりの風



令和2年 9月28日

令和2年度 運動会スローガン

最後まで 明るく 笑顔で やりぬこう！

令和2年度の運動会は、新型コロナウイルス感染症対策のために、地区との合同開催ではなく、小学校・保育園のみでの開催となりました。

また、保護者とそのご家族だけのご案内となりましたが、熱中症・新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただき、ありがとうございました。



あたたかいご声援

ありがとうございました！

学校では、新学期になってから、感染症と熱中症の対策を取りながら、練習を行ってきました。

本番では、児童はその成果をしっかりと発揮できたと思います。また、3年生以上は係の仕事も受け持ち、それぞれに責任を果たしました。

爽やかな秋晴れの下、楽しい時間を過ごすことができました。

保護者の皆様には、準備や片付けにもご協力を頂き、感謝申し上げます。

今後とも、富原小学校の教育活動に対しまして、ご理解・ご協力・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



行事から

宿泊体験学習 8月27日(木)～28日(金)

5・6年生8名が、中和の「津黒高原荘」で宿泊体験学習を行いました。天候に恵まれ、充実した活動を行うことができました。

1日目には、農業体験（白ネギの収穫）・林業体験（薪づくり）・オオサンショウウオの観察を行いました。



2日目には、ネイチャーゲームやゴムボート体験を行い、しっかりと自然に親しむことができました。指導に携わって下さった多くの方々にお礼申し上げます。



悪いのはウイルスであって、人ではない。

新型コロナウイルスに感染した人への差別や誹謗中傷が後を絶ちません。文部科学省は、保護者や地域の方、児童生徒、教職員等に向けて、緊急メッセージを出しました。富原小学校でも、保護者の皆様へ配布するとともに、担任が解説をしながら児童へも配布しました。9月の朝礼では、校長から、再度、子どもたちに「新型コロナウイルス感染症」に関する人権問題について以下のような内容の話をしました。

世の中には、新型コロナウイルス感染症にかかって苦しんでいる人に、「かかった人が悪いんだ」と言ったり、一生懸命、病気の人のために働いてくださっているお医者さんや看護師さん、その家族の人にまで、差別的なことを言う人がいます。

誰でも望んで感染したわけではありません。責めるのではなく、「早く良くなってね」と励まし、治って学校に戻ってきたらあたたかく迎えてあげる気持ちが大切です。もし、自分が感染して、元気になって学校に戻ったとき、友達にどんな風に迎えてもらいたいですか？

新型コロナウイルスは、人を病気にするという怖さがあります。でも、もっと怖いのは、人が人を責めたり、悪口を言ったりすることです。これは絶対あってはならないことです。

今後、研究が進むと、治療ができるようになり、恐れる必要もなくなります。みなさんは、今まで通り、マスクや手洗い、規則正しい生活をして、勉強を続けましょう。

ウイルスによって人とのつながりまで壊されることがないようにしたいものです。